



あまみ



コクトくん
© Amami city

第48号

平成30年3月発行

市議会だより



師玉敏代議会議長 祝辞・住用町成人式（住用公民館）1月3日



笠利町成人式（笠利農村環境改善センター）1月3日

名瀬成人式（奄美文化センター）1月5日

第4回定例会

平成29年12月8日～12月26日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL (0997) 52-1111

FAX (0997) 52-2815

Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第4回定例会一般質問・・・2P～6P

定例会の主な議案・・・7P

請願・陳情・・・8P

常任委員会の審査概要・・・8P～9P

鹿児島県市議会議員研修会・・・10P

新たな議会構成・・・11P

議会の動き・・・12P

第4回定例会 一般質問

12月11日、12日、13日の3日間で12名の議員が市政全般について市当局に質問いたしました。要約を紹介します。

(質問順に掲載)

小児医療無償化を義務教育終了

までと子育て支援について



動画視聴



大迫 勝史 (公明党)

問 小児医療無償化を義務教育終了までと子育て支援についての実現性について伺う

答 先の市長選において公約として「家族と子ども応援プラン」を示したところである。「人口減少問題」を克服するためにも出生率を高め、子育てしやすい環境を整えていくことが最も肝要であると考えるので、来年度の予算の中で、確実に対応

していきたい。

問 窓口負担なしの「現物給付方式」の県の動向について伺う

答 県の説明では、住民税非課税世帯の未就学児の窓口負担なしの新たな制度を来年度10月から実施予定である。

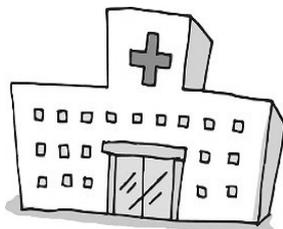
問 本市の検討状況はどうか

答 県の制度に沿って同じく、非課税世帯の未就

学児、乳幼児医療費助成制度の対象者のほか、ひとり親世帯、重度心身障害者医療費助成制度の未就学児も含む対象者に来年度10月から窓口負担なしの「現物給付」制度を実施する。

その他の質問事項

○三儀山運動公園沿いの市道整備について



©NEW KOMETTO



©KOMETTO

市長の政治姿勢について

三島 照 (日本共産党)



動画視聴



問 市長選挙の投票率48・06%の総括は

答 市政に対する有権者の関心を高められなかった事は、反省すべき点と考えている。特に若い世代の投票率が低かった事については、今後市政への関心を高める事が大きな課題と考えている。

問 オスプレイの頻繁な飛行についてどう対応しているのか

答 航空法や施行規則に基づき飛行しているものと認識しているので事前連絡はない。

問 子ども医療費、中学校卒業まで無料にすべきと思うが。

答 新年度予算に盛り込むよう検討したいと考えている。

問 80歳以上のバス運賃無料化について

答 三地区の高齢者が等しく利用でき、かつ持続可能な制度を幅広く検討していきたい。

その他の質問事項

○市長交際費について

○市民交流センター(仮称)の入札のあり方について

○巡回バスの運行について

奄美市における扶助費（生活保護費）や地方創生関連事業について

林山 克巳
（自民新風会）



動画視聴



問 社会保障費（扶助費）の推移と住民一人当たりの扶助費21万1525円の報道についての見解・推移の予想また対策は

答 平成18年度は、15億2343万4千円で、その当時と比較すると6億3985万3千円の増額となっている。児童手当・子供医療費の増額また、障害者支援・医療扶助費も増額の傾向にあり、高齢化に伴いさまざまな問題に対応する対策を考えている。

問 フリーランス支援事業（働き方改革）について

答 「フリーランス寺小屋」を実施、各種講座と講演会を開催し、延べ14名の受講者を数え、資料作成の副業として4万円、小物販売で月20万円近い売り上げる方もできている。

問 奄美市におけるNPO法人（業種別団体）について

答 NPO法人数は、34法人（福祉分野19法人・教育分野4法人・スポーツ分野1法人・まちづくり分野10法人）↓法人市民税課税団体は13団体そのうち法人税割課税団体は、8団体である。

奄美ブランドへの取り組みについて

橋口 和仁
（自民新風会）



動画視聴



問 奄美ブランドへの取り組みについて

答 ブランド品に向けては、定時・定量・定質の生産出荷を基本に、優れた産地を鹿児島ブランド推進本部が決定し、指定をしている。タンカンについては、JA等の系統共販額が1億円以上が基準であり、今年産の共販量は192トンに対し、共販額が8千万円となっており、継続的に二元集荷・選果による出荷基準の統一を図る事によってブランド化に近づくと考えている。

問 振興作物の規模拡大に向けての取り組みは

答 振興対策については、さとうきびは、病害虫・土作り・管理作業の軽減。肉用牛については、国の畜産基盤再編総合整備事業による施設整備の実施。果樹については、JAの事業の活用や市単独重点品目生産拡大事業を使って取り組んで行く。

問 給食センターへの納入体制について

答 センターへの納入物資については、安心安全で安定的な食材の確保について、協議を進めており、安心安全で安定的な給食の提供を実施するために、必要な食材を一定量確保する体制が必要というようにあはは考えている。

老朽化した公営住宅等の計画的再生は

崎田 信正
（日本共産党）



動画視聴



問 名瀬港での米陸軍汎用揚陸艇自衛隊車両運搬についての見解は

答 米軍独自の訓練や行動に伴うものでなく、日本と米国の協定に基づいた行動で、1自治体の見解は控えない。

問 奄美大島での米軍との共同訓練の見通しは

答 現在のところ情報等はない。今後そのような情報があった場合は、市民や議会と情報を共有し、対応する。

問 老朽化した公営住宅等の計画的再生は

答 建て替えは、多額の費用や家賃の高騰など負担増大につながり着手に至っていない。来年度から工事による市営住宅空き家改修対策を計画している。3年間を目処に年間30戸から40戸を改善したい。

問 第7期介護保険事業計画について、県下で2番目に高い保険料基準額の改善はできるのか

答 本市の保険料が全国平均や県平均よりも上位と認識している。地域での支援体制の成果として市民生活に出来る限り影響の出ない保険料の設定に努めたい。

LCC経済効果について

戸内 恭次 (無所属)



動画視聴



問 直近6ヶ月間のLCCについて利用率及び経済効果について

答 平成29年5月から10月まで6ヶ月間の成田路線の搭乗者数は5万626人となっており、利用率は83.5%となる。そして関空路線の搭乗者数は5万506人となり、利用率は79.7%となり、その経済効果は、半年の両路線で37億3200万円である。

問 おがみ山トンネルの予想利用台数、短縮時間、経済効果B/Cについて

答 平成20年度の調査によると、予想利用台数9千台、短縮時間2分B/Cは1.2となった。
※B/C(ピーバシー)費用対効果

問 交通渋滞解消のために、まずは三儀山バイパス開通が必要だと考え

る。
答 そこで本年11月に調査した結果によると、おがみ山トンネル予想台数よりもはるかに超える台数が計測されたが、県の方では調査していないのか
答 県に確認したところ、現在事業が決定されていないことから、これに伴う調査などは実施されておらず、関連する資料はない。

奄美・沖縄キックオフ

イベントについて

川口 幸義 (自由民主党)



動画視聴



問 奄美・沖縄キックオフイベントの島づたい観光について

答 議員ご提案の島づたい観光については、国の交付金を活用したクルーズ船の購入など今後検討すべき課題はあるが、奄美く沖縄を結ぶ航空路線がRACの50人乗りによる1日1往復ということを考慮すると、一度に大勢の観光客を輸送できるクルーズ船の就航は非常に魅力的なものであると考えている。

問 貧困対策と子供食堂について

答 子供食堂については、月1回から不定期ではあるが、NPO法人や医療機関など民間が主体となっており、参加した方々から好評を得ていると聞いている。学習支援については、今年7月から毎週日曜日に生活困窮者自立支援法に基づく事業として、名瀬地区の1ヶ所で子供の学習支援事業に取り組みはじめています。

あまみ農協共販への

推進について

奥 輝人 (自由民主党)



動画視聴



問 市長公約、地場産業を強化し、域内経済の循環向上についての見解

答 農村地域に豊富に存在する農林水産物の資源を最大限に活かし、島内の消費や産業を活用し、地産地消を進め、域内で多くの資金を循環させる事により、地域経済の活性化が期待できるものと考えている。
問 世界遺産登録を見据えた交流拡大について
答 各地域の自然や伝統文化などの魅力を体験できる観光メニューや民泊

の推進、屋久島や沖縄と連携した世界自然遺産ロードの構築など、受け入れ体制の強化に取り組んでいく。

問 たんかんの振興、農協果樹部会へ加入していない一般農家の加入促進について

答 加入していない一般農家が本市で2609名いる。今後研修会等において、果樹部会として登録された場合のメリットをPRし、加入促進につなげていく。

問 青年就農給付金受給者の状況について

答 現在16名で、関係機関と合同巡回指導を実施中。

小中学校の普通教室への

空調（冷房）設置について

橋口 耕太郎
(公明党)



動画視聴



問 島根県松江市が家庭用エアコンを次年度から順次設置するが、本市での導入の可能性は

答 松江市の事例は参考にするが、家庭用空調機で十分な効果が得られるかの効果検証や、実際に掛かる初期費用、ランニングコスト等を検証し、他の対策方法も含め検討する。

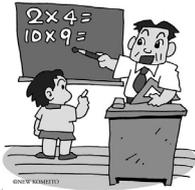
問 直近のいじめの件数と発見時の解決方法は

答 いじめの些細な事案も積極的に認知するよう指導している。10月末で

小学校で191件、中学校は34件、合計225件。年2回以上のアンケートや、日常的には日記や表情などを全職員が問題意識をもって細部にわたって丁寧を観察し、気になることがあれば即、対応している。また、「いじめは必ずある、再発する」という認識の下、学校全体で組織的に対応し、見届けをするよう指導している。

問 SNSを活用したい。はじめ相談窓口設置の可能性は

答 先進的にSNSを活用した地域もある。県庁の動向も含め研究したい。



市長の3期目の政治課題と

推進について

関 誠之
(社会民主党)



動画視聴



問 市長の3期目の政治課題と推進について

答 雇用と仕事、家族と子供、暮らしと安全の3つの課題、公約を推進することが「誇りある奄美市」の実現に繋がると認識している。

問 平成30年度予算編成への対応について

答 奄振計画、成長戦略ビジョン、奄美市総合計画、地方創生の着実な実行のための予算編成を基本方針とした。地方創生の推進のため1億円、世界自然遺産対応枠として

1億円の合計2億円を一般財源ベースで計上する。

問 奄振法の改定に向けた取り組みについて

答 沖縄や屋久島から外国人観光客の受け入れ体制や国際的な観光プロモーションについてハード面・ソフト面共に学ぶべき点が多い。種子島・屋久島、トカラ列島、沖縄と奄美などの近隣地域との連帯を円滑にする施策・制度のあり方を検討をしていく必要がある。

その他の質問事項

- 教育行政について
- 学力の定着・向上について
- 徴収金の滞納実態について
- 学校給食センターの危機管理体制について

子供医療費の中学生までの

拡充について

松山 さおり
(自民新風会)



動画視聴



問 子供医療費の中学生までの拡充について

答 昨年から子供医療費が小学生まで拡大した事で保護者からは歓迎の声があがり、中学校まで対象になればとの声があったので新年度の予算計上について検討する。

問 各小学校・中学校・高校での奄美の伝統文化を伝承する為の取組について

答 「郷土の先人に学ぶ島口教訓カレンダー」の大型版の作成「奄美方言島口ことわざかるた」などを各学校・全クラスに

配布。島口教訓カレンダーは、黒板の横や廊下等に掲示して、毎日読んでもらうよう取り組んでいる。

問 芸能イベント誘致について

答 優れた音楽鑑賞の機会や、芸術に関する興味・関心を喚起するため、民間事業者が取り組みにくいもの、鑑賞マナーの向上なども目的とする自主文化事業を実施している。

問 この一年間の公園のトイレを和式から洋式化した実績について

答 今年度、かねく公園、あさひ公園の2ヶ所において和式トイレ2基ずつを全て洋式に替える改修工事を行う。来年度はあかざき公園、みかた公園の2ヶ所の洋式化を計画している。

新地方公会計制度について

やすだ
安田 壮平
(自民新風会)



動画視聴



問 乳幼児期から小中学生の間の歯科保健の現状は

答 昨年度のデータでは、健全歯（一度もむし歯にかかっていない）の割合は、3歳児で76%（県平均80%）、12歳児で36%（同53%）と、むし歯保有率は高い。

問 今年度以降の取り組みは

答 名瀬地区において幼児のフッ素塗布自己負担分を無料化した。またフッ化物洗口を働きかけ、新たに保育園・幼稚園計5ヶ所に導入した。今後は妊

娠期の歯科検診助成等を検討する。また小中学校では「フッ化物推進委員会」によりモデル事業としてフッ化物洗口を進めたい。

問 新地方公会計制度の目的と今後の活用は

答 本市では平成20年度決算から貸借対照表をはじめ財務諸表を作成しているが、目的は①説明責任の履行、②財政の効率化・適正化である。今年度より全国統一的な基準を導入し、自治体間の比較が可能となる。発生主義による正確な行政コストの把握や資産・負債の総体の一覽の把握を行い、効率的な財政運営を目指す。

奄振延長・提言書に関する特別委員会の最終報告書を提出しました。

平成29年7月3日に奄振延長・提言特別委員会（多田義一委員長・委員11名）が設置されました。

この特別委員会は、時限法である奄振法の延長はもとより、奄美市のみならず、奄美群島のさらなる発展のため、奄美群島振興開発特別措置法における提言を行うためのものです。

特別委員会は計7回開催され、奄振についての勉強会、各種団体、業界等へのアンケート実施、前回の提言事項における進捗状況の確認等を経て、産業振興、観光、世界自然遺産、教育・福祉・環境・まちづくり、防災、奄振の制度・予算、その他事項と、各分野別に次期奄振に対する提言事項を取りまとめました。

取りまとめたものを、平成29年12月25日に師玉敏代議長・多田義一委員長より市長へ最終報告書を提出し、各関係機関へ送付いたしました。



第 4 回 定 例 会 の 主 な 議 案

議案等番号	件 名	議決結果	付託委員会
報告第7号	専決処分の承認を求めることについて (専決第13号 和解及び損害賠償の額を定めることについて)	承認	本会議
議案第80号	平成29年度奄美市一般会計補正予算(第6号)について	原案可決	全委員会
議案第81号	平成29年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)について	原案可決	文教厚生
議案第82号	平成29年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	文教厚生
議案第83号	平成29年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	産業建設
議案第84号	平成29年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	産業建設
議案第85号	平成29年度奄美市水道事業会計補正予算(第2号)について	原案可決	産業建設
議案第86号	奄美市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第87号	奄美市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第88号	奄美市企業立地の促進等のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第89号	奄美市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第90号	奄美市総合体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	文教厚生
議案第91号	奄美市立金久児童館の指定管理者の指定について	原案可決	文教厚生
議案第92号	奄美市立港町児童センターの指定管理者の指定について	原案可決	文教厚生
議案第93号	奄美市老人福祉会館の指定管理者の指定について	原案可決	文教厚生
議案第94号	奄美市名瀬公民館及び分館の指定管理者の指定について	原案可決	文教厚生
議案第95号	奄美市奄美振興会館の指定管理者の指定について	原案可決	文教厚生
議案第96号	奄美市名瀬本場奄美大島紬染公園の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第97号	奄美市大浜海兵公園及び奄美海洋展示館の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第98号	あやまる岬観光公園の指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第99号	奄美市和瀬水産物加工センターの指定管理者の指定について	原案可決	産業建設
議案第100号	建設工事委託に関する協定の締結について	原案可決	産業建設
議案第101号	奄美大島地区介護保険一部事務組合規約の変更について	原案可決	文教厚生
議案第102号	財産の取得について	原案可決	文教厚生
議案第103号	監査委員の選任について	同意	本会議
発議第10号	日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出について	否決	本会議

請願・陳情の状況

番号	件名	提出者	結果
陳情第4号	奄美・自衛隊ミサイル基地配備計画に関わる住民説明会開催を奄美市議会から防衛省へ求める陳情	戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネット 代表 城村 典文	不採択
陳情第5号	奄美市・名瀬・住用地区大規模給食センター化再審査を求める陳情	学校給食を考える保護者の会 代表 岡 千草	不採択

※請願や陳情が採択された場合については、議会本会議で意見書としても可決し、内閣総理大臣をはじめとする国の各省庁などの関係機関に送付しております。

第4回定例会 常任委員会の審査概要

第4回定例会における常任委員会では、12月18日に文教厚生、19日産業建設、20日に総務企画のそれぞれの委員会で議案・陳情について審査しました。
常任委員会での審査についてご紹介します。

総務企画委員会

総務企画委員会では、議案第80号奄美市一般会計補正予算（第6号）と議案第86号奄美市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例及び議案第87号奄美市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定についての議案3件及び陳情1件（陳情第4号）「奄美・自衛隊ミサイル基地配備計画に関わる住民説明会開催を奄美市議会から防衛省へ求める陳情」を審査し、議案3件を原案のとおり可決すべきものと決し、陳情

第4号を不採択とすべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、人件費の補正計上については人事院勧告に基づくもので一般職・特別職ともに増額計上したと説明がありました。社会保障・税番号制度システム改修負担金56万7千円は住民票やマイナンバーカードへ旧姓を併記できるように改修するものとの説明。市民税の歳入7840万円の増額について、納税義務者数や所得割額の伸び率を勘案し増額補正とのこと。また固定資産税の償却資産の増額5870万円については航空機や船舶などの償却資産に対し大臣配分額が当初見込みを上回ったためとの説明がありました。委員より全体の見方として奄美市の景気は良くなっているかとの質疑に対し、市内企業の雇用状況が非常に改善している状況との説明がありました。また、委員より「コンヒ」納税についての質

疑があり、現在、「コンヒ」納税での収納率が伸びているかどのような傾向にあるかとの質疑に対し、収納件数は、予想を上回って平成27～28年は1割増し、29年度前期実績では3割増しと年々増加傾向を見込んでいるとの回答でした。
陳情第4号については、委員会に於いて多数の意見もあり慎重に審査し、採決の結果、賛成少数のため不採択と決しました。

文教厚生委員会

文教厚生委員会では、議案11件及び陳情1件を審査し、議案11件をすべて原案のとおり可決すべきものと決し、陳情1件を不採択とすべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、障害者福祉費の扶助費の更生医療費として3千万円、介護給付等事業費として2億4461万円、障害児給付等事業費として5178万2千円、生活保護総務費の過年度分国庫支出金超過受入返還金として1億34

2万7千円、子ども医療費助成金として1050万円、ダイオキシンの調査業務委託料として360万円、公民館費の特殊建築物定期報告業務委託料として109万8千円、各種大会及びコンクール出場補助金として120万円、奄美体験交流館修繕費として130万円、名瀬運動公園工事請負費として180万円を計上した等の説明がありました。

障害者福祉費の扶助費について質疑があり、介護給付等事業費の増は、就労移行支援就労継続支援A型・B型、共同生活援助の利用増及び計画相談支援の増によるものとの説明でした。特殊建築物定期報告業務委託料について質疑があり、建築物は3年毎に建築設備については毎年、有資格者による検査を実施し、その結果を鹿児島県に報告することが新たに義務付けられ、今年度が初めての報告との説明でした。名瀬運動公園工事請負費について質疑があり、市民球場の芝張替やフェンス工事との説明でした。各種大会及びコンクール出場補助金

について質疑があり、奄美小

学校ヒューグルバンドが全国大会出場のため一人当たり4万円を補助するとの説明でした。

介護保険事業特別会計補正予算の主なものとしてキャッシュカード口座振替受付導入業務委託料として、12万5千円計上したと説明があり、これについて質疑があり、キャッシュカードを専用端末に通すことで口座振替の手続きを窓口でできるとの説明でした。

奄美市総合体育施設条例の一部を改正する条例の制定については、屋内ゲートボール場「すぱーく笠利」の跡地を多目的広場として利用してもらったため、名称、利用料金の条例の改正を行うものとの説明があり、ゲートボールの需要はなかったのかとの質疑があり、屋外ゲートボールが2面あり、笠利地区ゲートボール協会会員が約20名利用しているとの説明でした。

財産の取得については、名瀬・住用地区学校給食センターの食器類購入にあたり、指名競争入札により鹿児島アイホール調理器株式会社と6912万円

奄美市名瀬・住用地区大規模給食センター化再審査を求める陳情については、委員から教育委員会に対して保護者への説明の機会、話し合いの機会をしっかりともっていただきたいとの意見がありました。

産業建設委員会

産業建設委員会では、議案11件を審査し、議案11件はすべて原案のとおり可決すべきものと決しました。一般会計補正予算の主なものとして、当局から、農業施設管理費の工事請負費について、大川ダムの管理システムの改修工費が不足したためとの説明があり、また、公園管理費の委託料について、都市公園2ヶ所の樹木伐採作業を行うための経費との説明がありました。

議案第83号平成29年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算の主なものとして、当局から、中継ポンプ場の汚水ポンプのオーバーホール及び給気ファンの修繕等に係る費用との説明がありました。

議案第84号平成29年度奄美市農業集落排水事業特別会計

補正予算の主なものとして、当局から、国の補助金額の確定に伴う委託料と工事請負費の減額との説明がありました。

議案第85号平成29年度奄美市水道事業会計補正予算の主なものとして、当局から、自衛隊駐屯地水道施設整備に伴う負担金との説明がありました。

議案第100号建設工事委託に関する協定の締結について、当局より、名瀬終末処理場に係る改築更新事業との説明がありました。

議案第88号奄美市企業立地の促進等のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について、当局より、8つの産業分野で、地域の経済に波及効果等があると認められた地域経済牽引事業者が事業を行うための土地、建物等について固定資産税の全額免除を行うものとの説明がありました。

議案第89号奄美市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について、当局より、地域経済

引事業者が重点促進区域である太陽が丘工業団地において製造業等の工場を設置する場合の敷地面積に対する緑地や環境施設の割合基準を示したものの説明がありました。

議案第96号奄美市名瀬本場奄美大島泥染公園の指定管理者の指定について、当局より、本場奄美大島細協同組合を指定管理者とするとの説明がありました。

議案第97号奄美市大浜海浜公園及び奄美海洋展示館の指定管理者の指定について、当局より、(株)谷木材商行を指定管理者とするとの説明がありました。

議案第98号あやまる岬観光公園の指定管理者の指定について、当局より、深田建設(株)を指定管理者とするとの説明がありました。

議案第99号奄美市和瀬水産物加工センターの指定管理者の指定について、当局より、すみよつ漁業集落を指定管理者とするとの説明がありました。

鹿児島県市議会議員研修会



鹿児島市民文化ホールにて

鹿児島県市議会議長会主催の市議会議員研修会が1月16日、鹿児島市の市民文化ホールで行われました。

鹿児島県19市の議員が参加し、作家の鈴木由紀子氏の「西郷隆盛と明治維新」、跡見学園女子大学副学長・観光コミュニケーション学部教授の磯貝政弘氏の「この時代の旅の可能性」成熟社会の旅行者ーズと観光事業」という演題の講演を拝聴しました。この研修会で学んだことを今後の議員活動に役立てていきたいと思います。



笠利地区会場の様子

議会報告会を開催しました。

11月10日に市内4地区で議会報告会を開催いたしました。

ご来場くださいました皆様ありがとうございました。

ご意見等は、議会だより次号にて紹介させていただきます。

政務活動費

奄美市議会では請求のあった議員に月額 22,500 円を交付しています。(年額 27 万円)

年度初めに 1 年分を会派又は議員に交付し、年度終わりに年度の収支報告書(領収書添付)を市長(議長経由)に提出し、残余金は返還しています。

政務活動費の収支報告書・領収書の閲覧ができます。

閲覧ご希望の方は、名瀬本庁舎 5 階の市議会事務局までお越しください。

あなたのまちの議会を間近で見ませんか！！

平成30年第1回定例会は2月19日開会です

一般質問は、3月5日(月)から8日(木)までの4日間の予定です。

議会の傍聴は奄美市役所名瀬庁舎6階へお越しください。議会で行われる本会議や一般質問は、インターネットの生中継でもご覧いただけます。

奄美市ホームページの「奄美市議会」「会議の傍聴」「議会中継」へとお進みください。

また、過去の議会の議事録も奄美市ホームページから閲覧できます。「奄美市議会」の「奄美市議会の概要」をクリックし、「会議録閲覧」をご覧ください。

**新たな奄美市
議会の構成は次の
ようになりました**

議長



師玉 敏代

副議長



戸内 恭次

議会には常任の委員会として総務企画・文教厚生・産業建設の3つがあり、市政に関する分野を分けて担当し、調査や議案審査を行います。すべての議員がいずれかの委員会に属します。

【総務企画委員会】

主に市の市民部や企画・財政など総務部の分野を担当します。

委員長
三島 照

副委員長
関 誠之

委員
川口 幸義

委員
元野 景一

委員
大迫 勝史

委員
西 公郎

委員
竹山 耕平

委員
多田 義一



【文教厚生委員会】

健康・福祉・環境・教育・文化などに関する分野を担当します。

委員長
安田 壮平

副委員長
崎田 信正

委員
里 秀和

委員
平川 久嘉

委員
戸内 恭次

委員
栄 ヤス工

委員
松山 さおり

委員
橋口 耕太郎



【産業建設委員会】

都市整備・住宅・道路・上下水道・産業などに関する分野を担当します。

委員長
橋口 和仁

副委員長
奥 輝人

委員
伊東 隆吉

委員
渡 雅之

委員
師玉 敏代

委員
与 勝広

委員
津畑 誠

委員
林山 克巳



【議会運営委員会】

議会運営委員会は、議会の運営に関することを決める委員会です。各会派や党、無所属の議員で構成されます。議会の日程等も決定します。

委員長
伊東 隆吉

副委員長
橋口 耕太郎

委員
三島 照・関 誠之
竹山 耕平・津畑 誠
多田 義一

党派・会派別構成

党・会派等の名称	人数
日本共産党	2名
公明党	4名
社会民主党	1名
自民新風会	8名
自由民主党	4名
無所属	5名
合計	24名

(届け出順)

議 会 の 動 き

- 平成 29 年 1 1 月
- 1 日 第 41 回南海文化賞贈呈式
 - 5 日 第 10 回奄美市民体育祭
 - 6 日 議会だより編集委員会
 - 7 日 鹿児島県市議会議長会臨時総会及び国会議員との意見交換会
 - 9 日 議会運営委員会
 - 10 日 議会報告会
 - 11 日 奄美高校創立百周年記念式典・祝賀会
 - 15 日 第 12 回全国市議会議長会研究フォーラム（姫路市）
議員定数等調査特別委員会
 - 20 日 奄振延長・提言特別委員会
 - 24 日 奄美群島広域事務組合議会定例会（喜界町）
 - 29 日 議員定数等調査特別委員会
- 1 2 月
- 1 日 全員協議会
 - 3 日 すみようふれあいフェア
 - 5 日 議会運営委員会
 - 8 日 第 4 回定例会開会
 - 10 日 第 26 回笠利まちおこしフェスティバル
 - 11 日 一般質問 — 大迫議員、三島議員、林山議員、橋口（和）議員
 - 12 日 一般質問 — 崎田議員、戸内議員、川口議員、奥議員
 - 13 日 一般質問 — 橋口（耕）議員、関議員、松山議員、安田議員
 - 14 日 第 11 回奄美・沖縄経済交流会
 - 15 日 議員定数等調査特別委員会
 - 21 日 議会活性化検討委員会
 - 25 日 日本復帰記念の日の集い
 - 26 日 最終本会議（紬着用）
- 平成 30 年 1 月
- 1 日 平成 30 年合同年始会
 - 3 日 住用町成人式・笠利地区成人式
 - 5 日 名瀬地区新成人のつどい・第 40 回紬の日のつどい
 - 7 日 平成 30 年奄美市消防出初め式
 - 11 日 奄美大島商工会議所 2018 新春賀詞交歓会
 - 12 日 議会運営委員会
名瀬建友会平成 30 年安全祈願祭・懇談会
 - 15 日 鹿児島県市議会議長会臨時総会（鹿児島市）
 - 16 日 鹿児島県市議会議員研修会（鹿児島市）
 - 18 日 議会活性化検討委員会
 - 29 日 議会運営委員会

編集あとがき

平成 29 年 12 月定例会は、「追い風」を更に進める朝山市長三期目のスタートになりました。今年は、世界自然遺産登録・大河ドラマ西郷（せご）など、大きな『追い風』が奄美群島に吹き荒れ、二度とないチャンスが訪れてきます。このチャンスを奄美市民共有のものとして官民一体となり、総活躍社会の実現に向けて道の島「奄美」から新しい風（南風・新風）を起こし、島人の心を日本中へ届ける好機とし、共に喜べる年にしたいものです。

奄美の経済発展は、戦後「大島紬の貢献なくして今は無し」と言われた時代から多様な価値観を生み出す平成の時代生まれの若者へと引き継がれようとしています。【夢→希望→未来へ】

夢のもてる奄美市・希望のもてる奄美市・楽しみのもてる未来への奄美市に一步一歩駒を進めていきましょう。

ご挨拶が後になりましたが、議会だより編集委員も新体制でスタート致しました。市民の皆様にはわかりやすい紙面づくりと、常に新鮮な議会情報発信の窓口としての役割を認識して、委員一同心を一つにして邁進していきたいと思っております。宜しくお願い致します。

（林山 克巳）

市議会だよりの編集委員会

委員長 林山 克巳
副委員長 松山 さおり
委員 元野 景一
 崎田 信正
 関 誠之
 大迫 勝史
 津畑 誠